

実践⑩ 出水市立中央図書館

1 はじめに

2020 年は思いもよらない出来事が勃発しました。新型コロナウイルス感染症です。図書館では臨時休館が余儀なくされました。また、図書館関係者が楽しみにしていました「鹿児島県読書活動スキルアップ研修会」も開催が中止となりました。

出水市立図書館(3館)では、日常、図書館法第3条の規定を念頭に利用者との触れ合いを基調として「読書活動日本一のまちづくり」を目指し、「図書館を使った調べる学習コンクール」・「だっこでギョッ」・「毎月23日は夜のおはなし会」・「ぬいぐるみおとまり会」・「出水論語塾」・「本で見守り隊」など行っています。しかし、コロナ禍で開催できない奉仕が続出しました。主な図書館奉仕約20項目のうち、定例的な読み聞かせ会等8項目を断念、上記同期間での貸出利用冊数は前年比78%です。そこで、今回は「鹿児島県読書活動スキルアップ研修会」で予定していました事例発表を中心に御紹介いたします。「YA図書館クラブ」と「バリアフリー映画会」です。

2 YA図書館クラブ

このクラブは、YA世代の図書館利用は減少傾向にあることから、文学や図書館に関心を抱く高校生を対象として発足しました。文学や図書館との関わりを深めていくことを目的として、YA世代に様々な体験をしていただく場です。平成26年から開始しました。概要は次のとおりです。

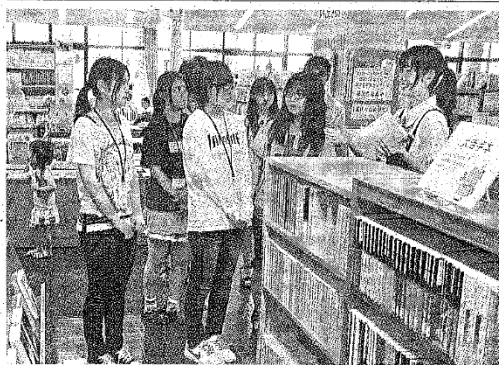
- ・ 活動日：年6回(2ヶ月おきに活動)
- ・ 部 員：出水市内の高校生20名
- ・ 募 集：市の広報誌、ポスター・チラシ掲示、高校へ出向き案内
- ・ 活動場所：主に出水市立中央図書館
- ・ 活動内容：クラブ員が話し合い、POP・トレーディングカード作成など
- ・ 鹿児島県高校生ビブリオバトル大会出場

平成26年8月3日 南日本新聞

出水市で、読書好きの高校生が集う「YA図書館クラブ」が活動を始めた。好きな本を紹介しあったり、絵本や紙芝居を作って披露するなどの取り組みが予定されている。YAはヤングアダルトの略。出水市は「読書活動日本一のまちづくり」を掲げており、若者の読書離れを防ぎ文学に親しんでもらおうと初めて企画した。初めての会は市中央

本好き高校生が集結

出水 YA図書館クラブ始動



職員から館内の説明を受ける高校生
＝出水市中央図書館

図書館で7月20日にあり、高校生7人が参加した。館内を見学し、本の分類の方法などを学んだ後、今後の活動について協議。郷土の逸話に基づいた絵本・紙芝居づくりや、図書館の業務の体験、お薦めの本を紹介し合う「バリアフリーバトル」などをすることを決めた。

出水商業高校3年の山崎大地君(17)は「学校でも図書委員をしており、本の面白さをどう伝えるかを学びたい」と話した。(二石茂行)

鳴海遥菜さん(17)は「将来の夢は学校図書カウンター業務や本の修理などを体験したい」と話した。

3 バリアフリー映画会

図書館は誰でも自由に無料で許可なく利用できる公の施設です。出水市立図書館では、ハンディキャップ奉仕として「図書宅配＝本で見守り隊」のほか、この映画会に取り組んでいます。バリアフリー映画会とは日本語字幕と音声ガイドがあり、視覚・聴覚が不自由な方にも楽しんで頂けるよう制作された映画の上映会です。住友商事株式会社と NPO 法人シネマ・アクセス・パートナーズ (CAP) が企画し、各配給会社の協力を得て作製された DVD をお借りして行っています。一般の方々にもバリアフリー映画を知ってもらい、字幕や音声ガイドが誰にとっても便利なツールであることや、障がい者の社会参加について考えてもらうことを意図して始めました。

平成 27 年度から毎年、障害者週間の 12 月 3 日から 9 日の間の土曜日に開催しています。これまで上映した映画は、「天国からのエール」・「武士の家計簿」・「博士の愛した数式」・「春との旅」・「ハンサム☆スーツ」・「長いお別れ」です。図書館内の閲覧席を急遽、劇場に作り替えて行っています。定員は 50 人。上映後は皆様にアンケートをお願いし、今後の開催に資しています。また、ボランティア手話通訳の方にもお手伝いをいただいています。出水市の民生委員・児童委員協議会の皆様とは合同で「くちびるに歌を」を例会で上映しました。これまでお寄せいただいた御感想の一部を御紹介いたします。



- 感激して涙が出ました。久しぶりの涙々でした。
- 障害者や悩みある人間が居る社会が普通の心に悩みを持つ者が、徐々に理解し合い、前進していくこの映画は涙が出ました。大変感動しました。ありがとう！！
- 物理的なバリアフリーのみにとらわれず、精神的なバリアフリーの大事さを再確認しました。
- とっても感動しました。子供たちにぜひ見せたい映画です。幼稚園～大学生，大人たち全員です。

4 おわりに

コロナ禍の 1 年が過ぎようとしています。普段は人に集まっていたのが仕事ですが、この 1 年で、私たちは利用者の皆様と共に図書館を守り向上していくことの尊さを学びました。

皆様と共にこの尊さをより多く共有したいと思います。紙面の都合もあり不可能です。誠に僭越ですが、よろしければ弊館の HP やインスタグラムを御覧いただければ幸いです。